

News Release

アジア開発銀行が発行するウォーターボンドへの投資について

J A 共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 村山美彦）は、アジア開発銀行（以下、「ADB」）が発行するウォーターボンドへの投資を行いましたので、お知らせいたします。

■ 本債券の概要

本債券は、ADBのテーマ型債券の一つであるウォーターボンドであり、水の供給や衛生環境の改善、水資源管理、灌漑管理、水に関連する災害への対応など、アジア・太平洋地域の水と衛生に関する課題の解決を目的として発行されたものです。

<詳細>

発 行 体	アジア開発銀行 (Asian Development Bank)
名 称	ウォーターボンド
通 貨	日本円
償 還 期 間	7 年
発 行 額	200 億円
本 会 投 資 額	200 億円
発 行 日	2026 年 8 月 26 日

<貢献が期待されるSDGs目標>



■ ウォーターボンドのプロジェクト事例

国	プロジェクト例	支援内容
カンボジア	灌漑農業改善プロジェクト	・灌漑施設の整備・近代化による気候変動や災害への対応力強化 ・灌漑施設の持続的な運営体制の構築 ・水資源情報システム等の整備を通じた水資源管理体制の強化 ・農業手法の改善による農業生産性の向上および作物の多様化
	統合水資源管理プロジェクト	・気候変動に適応した統合的な水資源管理の推進 ・河川流域における水資源管理体制の強化 ・灌漑施設の整備・近代化による水供給能力の向上 ・洪水リスクの低減および自然災害への対応力強化 ・生態系に配慮した持続可能な水利用の推進

■ ADB財務局長コメント

ADB財務局長のトビアス・ホシュカ氏は、本債券の発行にあたり次のように述べています。

「ADB初となる円建てウォーターボンドを発行できることを大変嬉しく思います。本債券は、アジア・太平洋地域が抱える重要な社会課題の解決に向けた資金調達の取組みへの投資家の関心の高まりを反映するものです。」

■ 本債券への投資の背景

水は、農業生産を支え、強靱な食料システムや食料サプライチェーンを維持する上で重要な役割を果たします。人口増加や経済発展に伴い水需要が高まるなか、水資源の適切な管理はより一層重要性を増しています。

ADBは、水資源管理の強化を通じて、水と食料の安全保障の向上に取り組んでいます。水関連事業には、灌漑設備の近代化や水資源の効率的な管理などが含まれ、農業の持続可能性や地域の食料供給体制の強化に貢献しています。

また、ADBは日本の農林水産省（MAFF）と連携し、農業・林業・水産業におけるCO₂排出ゼロを目指したサプライチェーン改革を通じて、生産性向上と食料システムの持続可能性の確保に取り組んでいます。

これらのADBの取組みは、農業の持続可能性の向上および農業用水の安定確保や地域の食料供給体制の強化等、社会課題解決につながることから、JA共済連は、本投資を通じてADBの取組みを資金面から支援します。そして、このような取組みの一つひとつが、SDGsの達成につながるものと考えております。

これからも、JA共済連は、農業と地域社会の持続的発展に貢献するとともに、地域社会を構成する一員としての社会的役割を果たしていくため、資金運用における責任投資を進めてまいります。

以 上